

川西市障がい者プラン2029 ～自分らしく輝き とともに暮らし続けられる共生社会の実現～（令和6年度末現在）

基本目標4 障がいのある子どもたちの健やかな育成と豊かな未来の実現

大項目:1項目 中項目:3項目 基本施策:22施策

評価項目	評価の基準	令和6年度 実績評価	今後の方向性
A:できている	計画で予定していたことのうち、80%以上できた場合、または、取り組みによって市民に説明できる十分な成果があったといえる場合。	4件	A:充実 2件 B:継続 23件 C:見直し・改善 1件 D:完了・廃止 0件
B:概ねできている	計画で予定していたことのうち、60%以上はできた場合、または、取り組みによってこれまでよりよくなった成果があったといえる場合。	22件	
C:あまりできていない	計画で予定していたことのうち、30%～50%程度しかできていないと思う場合、または、実施したもののほとんど成果があがっていない場合。	0件	
D:ほとんどできていない	計画で予定していたことのうち、ほとんどできていないと思う場合、または、まったく実施していない場合。	0件	

※進捗状況結果の件数については、施策により担当所管が複数のため、施策数より多くなる。

★は重点施策

大項目	中項目	ページ	施策番号	施策名	進捗状況	今後の方向性	担当部署
教育・療育環境の整備 と交流教育の推進	(1)療育体制等の充実	111	★41101	障害児相談支援の実施	B:概ねできている	A:充実	こども支援課
			41102	障害児通所支援の実施	A:できている	B:継続	こども支援課
		112	★41103	川西さくら園の運営	B:概ねできている	B:継続	こども支援課
			41104	教育支援委員会、教育支援専門委員会の開催	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41105	教育相談事業の実施	B:概ねできている	B:継続	こども若者相談センター
			41106	障がい児の自然体験推進事業	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41107	サポートファイルの活用	B:概ねできている	B:継続	こども支援課
			41107	サポートファイルの活用	A:できている	B:継続	保健センター・予防歯科センター
			41107	サポートファイルの活用	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41108	医療的ケア児に対する支援体制の充実	A:できている	A:充実	こども支援課
			41109	重症心身障がい児に対する支援体制の整備	B:概ねできている	B:継続	こども支援課
		113	41110	教育と福祉の協議の場の設置	B:概ねできている	B:継続	こども支援課

大項目	中項目	ページ	施策番号	施策名	進捗状況	今後の方向性	担当部署
教育・療育環境の整備 と交流教育の推進	(1)療育体制等の充実	113	41110	教育と福祉の協議の場の設置	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			★41111	障がい児に関する総合相談窓口の整備	B:概ねできている	C:見直し・改善	こども支援課
			41112	障害児通所支援事業所等に向け研修体制の構築	B:概ねできている	B:継続	こども支援課
			41113	ペアレント・トレーニングの実施	A:できている	B:継続	こども支援課
	(2)多様な教育機会の提供 と交流教育の充実	114	41201	障がい児教育・保育事業の実施	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41202	小・中学校における特別支援教育の実施	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41202	小・中学校における特別支援教育の実施	B:概ねできている	B:継続	教育総務課
			41203	特別支援学校における教育の実施	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41204	留守家庭児童育成クラブにおける障がいのある児童の受け入れ	B:概ねできている	B:継続	入園所相談課
			41205	県立川西カリヨンの丘特別支援学校との連携による特別支援教育の充実	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
		115	41206	医療的ケア児の受入に向けた体制整備【新規】	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41207	医療的ケア実施のための看護師配置【新規】	B:概ねできている	B:継続	教育保育職員課
	(3)教職員の資質向上と教育内容の充実	115	41301	特別支援教育実践集の作成	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課
			41302	特別支援教育に関する研修、講座の開催	B:概ねできている	B:継続	インクルーシブ推進課

川西市障がい者プラン2029 ～自分らしく輝き とともに暮らし続けられる共生社会の実現～

進捗状況【令和6年度施策評価シート】調書 回答様式

●障がい者プラン2029(第8次川西市障がい者計画)の進捗状況

基本目標	4 障がいのある子どもたちの健やかな育成と豊かな未来の実現	重点施策	○障がい児に係る相談支援体制の充実 重点施策番号: [41101] [41103] [41111]
大項目	教育・療育環境の整備と交流教育の推進		
中項目	(1) 療育体制等の充実		

※ ★は、重点施策を指している。

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	担当所管
★ 4 1 1 0 1	障害児相談支援の実施	111	障がい児にとって適切なサービスを組み合わせることができるよう障害児支援利用計画の作成や管理に対する支援を行うとともに、市内の相談支援事業所の拡充に努めます。	計画相談支援事業所と連携し、障がい児にとって適切なサービスを組み合わせ利用できるよう、適切な支給決定を行うことができた。児童発達支援センターに相談員を増員し、相談体制の強化に努めた。 R6年度実績 利用実人数 1,441件	B : 概ねできている	障害児利用計画が適切に作成・管理されるように各事業所との調整を行い、利用者に不利益が生じないように取り計らうとともに、相談支援の質の向上を目指す。 相談支援専門員に求められる役割が重要になっているため、相談支援が円滑に行われるよう支援していく。	A : 充実	こども支援課
4 1 1 0 2	障害児通所支援の実施	111	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援事業を実施し、障がいのある子どもに対する日常生活における基本的な動作の指導や、生活能力向上に必要な訓練など必要な支援を行います。	総量規制により過剰な事業所設立を抑制し、適切な支援提供体制を整えている。 R7年3月末時点 児童発達支援 29か所 放課後等デイサービス 40か所 保育所等訪問支援 7か所	A : できている	総量規制で新規事業者が制限される中でも、特色のあるプログラムを実施する事業所は設立を認めるなど、市内の障害児通所支援体制の充実を図る。	B : 継続	こども支援課
★ 4 1 1 0 3	川西さくら園の運営	112	精神発達遅滞や運動、言語発達等に遅れを持つ義務教育就学前の乳幼児を対象に、障がいや発達の状態に応じて、個別又は集団で各種訓練、指導及び保育等の療育に必要な知識、技術の指導を行い、施設と家庭が一体となって障がい児を療育できる体制の整備に努めるとともに障害児相談支援及び保育所等訪問支援を行います。また、児童発達支援センターとして、地域における障害児相談支援の中核的な役割を担うため、そのあり方を整理し、機能強化を図ります。	児童発達支援センターとして中心的な役割を担いつつ、他施設では受け入れの難しい医療的ケア児などへの支援を行っている。またペアレント・トレーニングに組み、福祉と家庭の一体的療育に寄与している。 不安や悩みを抱えた児童などに対し、質の高いサービスを継続して提供できる体制を構築するため、事業所などの支援の質を向上を図る研修事業を行った。医療的ケア児等コーディネーターが増員され、医療的ケア児への支援体制が充実した。	B : 概ねできている	児童発達支援センターとしての役割を担いながら、医療的ケア児等コーディネーターを軸とした支援体制の中心的役割を強化する。市内の事業所と連携を図り、市内全体の児童福祉の向上を目指す。	B : 継続	こども支援課

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	担当所管
41104	教育支援委員会、教育支援専門委員会の開催	112	教育委員会の諮問に応じて、障がい児の就学指導について、調査、審議します。障がい児の状況を適切に把握し、適切な指導を行います。	・年間11回教育支援委員会を開催した。 医師、教育関係者、福祉関係者等が障がい児一人ひとりの就学指導について調査、審議し、障がい児の状況を適切に把握した上で、保護者に情報提供し、適切な指導を行った。	B：概ねできている	今後も継続して個別的教育相談を行い、適切な就学相談が行えるように取り組んで行く。	B：継続	インクルーシブ推進課
41105	教育相談事業の実施	112	児童の心身の問題について相談に応じ、健やかな育成を図ります。障がいの特性に応じた相談事業の充実を図ります。	18歳までの子どもとその保護者等を対象に面接及び電話相談を実施した。また、言語や聴覚に配慮が必要な子どもに、昨日の維持向上を図る指導等の実施をした。 年間延べ回数で面接相談を4,662回、電話相談を1,989回実施した。また、臨床心理士に498件、言語聴覚士に61件相談申込があり、そのうち新規ケースは心理160件、言語23件となった。	B：概ねできている	相談者の不安や悩みを、相談を通じて整理していき、解消を図れるよう取り組んでいく。そのために、相談員の資質向上を図るとともに、必要に応じた関係機関との連携を大切にしていきたい。	B：継続	こども若者相談センター
41106	障がい児の自然体験推進事業	112	自然とのふれあいや集団生活を通して、自立をめざした知識、技能、態度及び習慣を身につけるとともに、豊かな心情や社会性を養います。	・9月に小学部2名と中学部5名の児童生徒で実施。 ・校外における宿泊施設で、ものづくりや自然散策などの体験学習を行った。 ・自然とのふれあいや体験を通して、豊かな心情を育むことができた。 ・日頃できない友だちとの集団生活の中で社会性を養う学びにつながった。	B：概ねできている	集団生活を通して、より豊かな心情や社会性を養えるように取り組んでいく。	B：継続	インクルーシブ推進課
41107	サポートファイルの活用	112	支援に必要な情報を共有するため、障がい児(者)の情報が集積されたサポートファイルを作成し、配布することにより、関係機関の連携を図り、障がい児(者)への一貫した支援を行います。	サポートファイルの作成と配布を行っている。保健センターの5歳児発達相談事業で配布するなど、関係事業で配布機会の拡大を行う。 こども支援課、保健センター、川西さくら園でサポートファイルを配布。 配布数 60冊	B：概ねできている	保健センターの5歳児発達相談事業などで配布を行うとともに、配布機会を見直し、他の事業でも積極的に配布する。	B：継続	こども支援課
41107	サポートファイルの活用	112	支援に必要な情報を共有するため、障がい児(者)の情報が集積されたサポートファイルを作成し、配布することにより、関係機関の連携を図り、障がい児(者)への一貫した支援を行います。	希望者にサポートファイルを説明し、配布した。 サポートファイル配布数 57 冊 (5歳児発達相談事業等で配布)	A：できている	障害福祉課と協力し、引き続き実施していく。	B：継続	保健センター・予防歯科センター

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	担当所管
41107	サポートファイルの活用	112	支援に必要な情報を共有するため、障がい児(者)の情報が集積されたサポートファイルを作成し、配布することにより、関係機関の連携を図り、障がい児(者)への一貫した支援を行います。	・サポートファイルに綴じることが可能な個別の教育保育支援計画、個別の指導計画を作成し、適切な引き継ぎが行われるように学校園所に対して指導している。 ・学校園所において特別な支援が必要な児童生徒について、個別の教育保育支援計画と個別の指導計画を作成するよう指導している。 ・教育支援サポートシステムを使い、特別な支援が必要な児童生徒について、学校園・家庭・関係機関と連携を図ることができる。 ・就学指導にかかった幼児について全員の個別の教育保育支援計画を作成することができた。	B：概ねできている	今後も継続して個別の教育保育支援計画、個別の指導計画の作成を指導していく。	B：継続	インクルーシブ推進課
41108	医療的ケア児に対する支援体制の充実	112	医療的ケアを要する障がい児が適切な支援を受けられるよう、市障がい者自立支援協議会や医療的ケア児運営協議会を通じ、保健、医療、障がい福祉、保育、教育、福祉等の関係機関等が連携を図り、支援体制の充実を図ります。	市障がい者自立支援協議会のこども支援部会で、市内の医療的ケア児などの、情報把握と支援体制の共有・協議を行っている。 令和6年度実績 部会開催 4回 医療的ケア児実態把握調査実施 送付者数 43人 回答数 17人	A：できている	こども支援部会で、『川西市医療的ケア児実態把握調査』を実施、市内の現状や課題の抽出を行った。次年度には調査結果を受けた協議を行っている。	A：充実	こども支援課
41109	重症心身障がい児に対する支援体制の整備	112	重症心身障がい児が身近な地域で福祉サービスを受けられる支援体制を整備するとともに、地域における課題の整理や地域資源の開発等を行い、支援体制の充実を図ります。	市障がい者自立支援協議会のこども支援部会で、重症心身障がい児の情報把握を行い必要な支援について検討した。 令和6年度実績 部会開催 4回、重症心身障害児数 12人 R7年3月末時点 児童発達支援 2か所 放課後等デイサービス 2か所	B：概ねできている	重症心身障がい児が地域で安心して過ごせる体制を整備する。 また、こども支援部会など福祉と教育の協議の場合に、ケース事例を通じ、地域における課題の整理、適切な支援につなげるよう体制づくりをめざす。	B：継続	こども支援課
41110	教育と福祉の協議の場の設置	113	障がい児支援が適切に行われるために、市障がい者自立支援協議会や特別支援教育相談連携会議を通じ、就学前から卒業までの支援が円滑に行えるよう、教育と福祉が緊密な連携を図ります。	市障がい者自立支援協議会のこども支援部会と特別支援教育相談連携会議で、医療的ケア児などへの対応や強度行動障害に関する情報提供、個別ケースの情報共有を行っている。 医療的ケアや特別な配慮が必要な児童について、基本的な対応などの体制づくりに関する協議を行った。	B：概ねできている	教育保育と福祉の協議の場の充実を図る。	B：継続	こども支援課

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	担当所管
41110	教育と福祉の協議の場の設置	113	障がい児支援が適切に行われるために、市障がい者自立支援協議会や特別支援教育相談連携会議を通じ、就学前から卒業までの支援が円滑に行えるよう、教育と福祉が緊密な連携を図ります。	・関係機関との連携のため、特別支援教育保育相談連携会議を開催した。 ・特別支援教育保育にかかる指導、相談、移行支援等を円滑に進めるために、現状を把握しながら協議及び情報交換を行った。さらに関係機関と密接な連携を図り、充実させていくことが求められる。	B：概ねできている	特別支援教育保育にかかる、より適切な支援を行うためには、特別支援な支援を必要とする幼児児童生徒に関わる関係機関との連携のもと、早期の指導及び相談を行わなければならない。	B：継続	インクルーシブ推進課
★41111	障がい児に関する総合相談窓口設置の検討	113	障がい児やその家族に対する継続的な相談支援を行うとともに、関係機関をつなぐ中心的な役割を担い、ライフステージに応じた切れ目のない支援体制を構築するため、障がい児に関する総合相談窓口について、整備を進めます。	総合相談窓口として位置付けた児童発達支援センター川西さくら園が、その役割を果たせる体制について検討した。 相談窓口が多様化する中、総合相談窓口としてどのような在り方が適切か川西さくら園と協議した。	B：概ねできている	市の相談窓口が増え、入り口が多様化してきているなか、障がい児に関する総合相談窓口の在り方を改めて整理し、体制を整えていく。	C：見直し・改善	こども支援課
41112	障害児通所支援事業所等向け研修体制の構築	113	市内障害児通所事業所や学校、幼稚園、保育所などの教職員、保護者などに対し研修等を実施し、障がい児の特性や障害福祉サービスへの理解を通じ、従事者や教職員等の資質の向上や障がい児への適切な支援を図ります。	児童発達支援センター川西さくら園へ委託し、保護者や支援者、教職員等に対し研修を実施した。 研修件数 2回 参加者のべ人数 90人	B：概ねできている	保護者や支援者、教職員などのニーズを開きながら、継続的に研修を実施できるよう予算を確保し、障がい児への適切な支援を図る。	B：継続	こども支援課
41113	ペアレント・トレーニングの実施	113	発達障がいと診断されている又は可能性のある子どもを育てており、育児に不安を感じている保護者等に対してペアレント・トレーニングを実施し、子どもの健やかな発達及び保護者等の子育てに対する不安解消に努めます。	ひょうご発達支援センターや市内事業者の協力を得て、ペアレント・トレーニングを実施した。未就学児に加え、小学3年までの就学児にも実施した。 講座回数 12回 フォローアップ 2回 修了者 21人	A：できている	引き続き育児に不安のある保護者等にペアレント・トレーニングを実施し、子どもの健やかな発達子育てに対する不安解消を目指す。	B：継続	こども支援課

川西市障がい者プラン2029 ～自分らしく輝き とともに暮らし続けられる共生社会の実現～

進捗状況【令和6年度施策評価シート】調書 回答様式

●障がい者プラン2029(第8次川西市障がい者計画)の進捗状況

基本目標	4 障がいのある子どもたちの健やかな育成と豊かな未来の実現	重点施策	○障がい児に係る相談支援体制の充実 重点施策番号: [41101] [41103] [41111]
大項目	教育・療育環境の整備と交流教育の推進		
中項目	(2) 多様な教育機会の提供と交流教育の充実		

※ ★は、重点施策である。

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	担当所管
41201	障がい児教育・保育事業の実施	70	幼稚園・保育所・認定こども園などにおいて、集団の中で他の児童と関わり、それぞれの成長を促すとともに、児童の障がいの特性や発達に応じた教育・保育を行います。今後、関係機関と連携し、相談事業の充実を図るとともに、必要に応じて加配教員を配置するなど、体制を整え、ともに教育・保育を受けられる環境の実現をめざします。	・特別支援教育保育研修会の実施 ・特別な支援を要する児童の巡回指導 ・新たな加配の有無、次年度の加配継続の有無を検討、決定(就学前児童支援調整部会) ・特別な支援を要する児童について、就学前施設と市教委の連携の元、具体的な支援を進めることができた。 ・特別な支援を要する児童への教育・保育について、さらなる資質向上を進めたい。	B:概ねできている	・今後も加配要否を判断するための検討会を重ね、可能な限り障がい児を受け入れていく。 ・特別支援教育・保育の資質向上のため、支援が必要な子どもをサポートするシステムの導入を図り、特別支援教育・保育の充実を図める。 ・保護者と園所が同じ方向性で児童の成長を促すことができるように、関係機関との連携を推進する。	B:継続	インクルーシブ推進課
41202	小・中学校における特別支援教育の実施	71	障がいのある子どもたちが可能な限り自立し、主体的に社会参加できるよう障がいの種類、程度、特性に応じた教育環境を整え、適切な教育を行います。特に交流および共同学習を充実させ、障がい児の社会性を育てる。また、障がい児の実態に応じた支援を行い、設備備品の改善など教育環境の充実を図ります。	・教材や備品、教室などの教育環境を整えとともに、一人ひとりに応じた教育課程を編成し、必要な指導や支援を行う。 ・特別支援学級と通常の学級の担任が対象児童生徒の実態を共有しながら、交流および共同学習の充実を図る。 ・通常の学級における交流及び共同学習を通して、経験を深め、社会性を養う機会につなげることができた。 ・障がいの種類、程度、特性に応じたより良い教育環境をさらに構築していく必要がある。	B:概ねできている	・さらに教材や備品、教室などの教育環境を整え、個に応じた支援を行っていく。 ・今後も通常の学級における交流及び共同学習の充実に向け、障がい児の社会性や豊かな人間性を育みながら、積極的な社会参加につながる支援を行っていく。	B:継続	インクルーシブ推進課
41202	小・中学校における特別支援教育の実施	71	障がいのある子どもたちが可能な限り自立し、主体的に社会参加できるよう障がいの種類、程度、特性に応じた教育環境を整え、適切な教育を行います。特に交流および共同学習を充実させ、障がい児の社会性を育てる。また、障がい児の実態に応じた支援を行い、設備備品の改善など教育環境の充実を図ります。	・市立学校において、各特別支援学校の実情に応じた設備備品の整備を行う。 ・前年度に引き続き、設備備品の配備を進めた。	B:概ねできている	学校への支援は単年度で完結するものではなく、今後も継続して、学校からの要望を基に児童・生徒の障がいに応じた設備備品の整備に努めていく必要がある。	B:継続	教育総務課

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	担当所管
41203	特別支援学校における教育の実施	71	障がいのある子どもたちが可能な限り自立し、主体的に社会参加できるよう障がいの種類、程度、特性に応じた教育環境を整え、適切な教育を行います。また、小・中・高等学校との交流および共同学習を充実させ、障がい児の社会性を育てます。	・教材や備品、教室などの教育環境を整えるとともに、一人ひとりに応じた教育課程を編成し、必要な指導や支援を行う。 ・副次的な学籍(副籍)を生かした居住地校交流を進め、居住地における交流及び共同学習の充実を図る。 ・小、中、高等学校との交流及び共同学習を通して、同じ地域に住む児童生徒同士のつながりを強め、社会性や豊かな人間性を育む機会となった。 ・障がいの種類、程度、特性に応じたより良い教育環境をさらに構築していく必要がある。	B：概ねできている	・学校の現状や要望等の聞き取り、児童生徒の実態把握に努め、障がいに応じた教育環境の充実を図る。 ・副次的な学籍(副籍)により、組織的に居住地域とのつながりの維持及び継続を図る。	B：継続	インクルーシブ推進課
41204	留守家庭児童育成クラブにおける障がいのある児童の受け入れ	71	小学校第6学年までの継続入所を許可するとともに、児童の健全育成を図ります。また、関係機関と連携、協力し支援を強化するとともに、必要に応じて加配支援員を配置する。	・支援の必要な子どもがいるクラブにおいて、状況に応じて支援員の配置に配慮した。 ・市主催の研修の実施や、外部主催の研修等への参加を促進し、資質の向上に努めた。 ・概ね全クラブで、障がいのある児童の受け入れを行い、各々の特性に応じたクラブ運営を心掛けることができた。 ・必要に応じて加配支援員や看護師を配置し、職員体制の整備を進めていく必要がある。	B：概ねできている	・必要に応じて加配支援員や看護師を配置する等、障がいのある児童の受け入れを行える体制づくりを行い、児童の健全育成を図る。	B：継続	入園所相談課
41205	県立川西カリヨンの丘特別支援学校との連携による特別支援教育の充実	71	令和6年(2024)年4月に開校の県立川西カリヨンの丘特別支援学校との連携を図り、小・中学校等に対する支援などを行う地域の特別支援教育のセンター的昨日の充実をめざします。	・学校説明会及び見学会の周知 ・就学指導対象児童生徒の情報共有 ・特別支援教育のセンター的機能のあり方についての協議 ・学校園所や保護者に必要な情報提供を行うとともに、特別支援学校とも積極的に情報共有を図ったことで、対象児童生徒のスムーズな入学につながった。 ・特別支援教育のセンター的機能が有効に発揮されるための体制整備が喫緊の課題である。	B：概ねできている	特別支援学校の教育上の高い専門性を生かした支援を円滑に小・中学校が受けられるような環境を醸成していくことが重要である。特別支援教育のセンター的機能が有効に発揮されるための体制整備を進めていく必要がある。	B：継続	インクルーシブ推進課
41206	医療的ケア児の受入に向けた体制整備	71	医療的ケア児が保育所等の利用を希望する場合に受け入れが可能となるよう、医療的ケアに従事する看護師等の配置や医療機関との連携など体制整備を行います。	・市立就学前施設2園に看護師を配置し、医療的ケア児の受け入れを行った。 ・今後、医療的ケア児が増えることを想定して、看護師配置のあり方やガイドラインの見直しの検討を重ねていく必要がある。	B：概ねできている	今後他機関との連携しながら、医療的ケア児の実態を把握し、円滑な受け入れが可能となるように体制整備の充実を図っていく。	B：継続	インクルーシブ推進課
41207	医療的ケア実施のための看護師配置	71	医療的ケアが必要な児童・生徒に対して迅速・的確な対応ができるよう、小・中学校への看護師等を配置します。	- 医療的ケアが必要な児童・生徒の状況を把握し、必要に応じて公立認定こども園・小・中学校に看護師を配置するよう備えた。 - 関係機関と連携し、児童・生徒の状況を把握するとともに、公立認定こども園・小・中学校で看護師が必要となった際に迅速に配置できるよう、求人チラシなどを活用し、看護師の確保に努めた。	B：概ねできている	医療、教育、福祉等関係機関と連携を図り、医療的ケアを要する障がい児に対し適切な支援を行っていくために人員を配置する。	B：継続	教育保育職員課

川西市障がい者プラン2029中間見直し ～自分らしく輝き ともに暮らし続けられる共生社会の実現～

進捗状況【令和6年度施策評価シート】調書 回答様式

●障がい者プラン2029(第8次川西市障がい者計画)の進捗状況

基本目標	4 障がいのある子どもたちの健やかな育成と豊かな未来の実現	重点政策	○障がい児に係る相談支援体制の充実 重点施策番号: [41101] [41103] [41111]
大項目	教育・療育環境の整備と交流教育の推進		
中項目	(3) 教職員の資質向上と教育内容の充実		

※ ★は、重点施策を指している。

施策コード	基本施策	計画書ページ	概要	(上段)主な実施内容(箇条書き記入) (下段)取り組みの成果と課題	進捗状況	今後の取り組み方針	今後の方向性	所属等
41301	特別支援教育実践集の作成	115	小・中・特別支援学校の特別支援教育担当者の実践交流を報告書として作成します。また、特別支援教育コーディネーター連絡会議等において、就学前の幼稚園や保育所、認定こども園等担当者と密接な実践交流を図ります。	・特別支援教育担当者会や特別支援教育コーディネーター連絡会等において、中学校区ごとに実践交流の情報交換を行っている。 ・年度末には報告書を作成して全体で交流を行うことができた。	B: 概ねできている	・今後も積極的に中学校区で連携を図っていく。 ・実践交流の報告書を作成し、全体で共通理解を図りながら、よりよい特別支援教育のあり方をめざしていく。	B: 継続	インクルーシブ推進課
41302	特別支援教育に関する研修、講座の開催	115	特別支援教育に関する基礎的な知識及び指導技術を習得するため、研修や講座を開催します。障がい児一人ひとりの特性や発達に応じた支援等、特別支援教育の専門性を高めます。	研修や講座の開催を計画・実施 夏季研修などを通して特別支援教育における課題やニーズを踏まえながら、専門性を高めるための研修や講座を実施することができた。	B: 概ねできている	・今後も特別支援教育における課題やニーズに応じた研修とともに、通級指導の充実、日本語指導が必要な児童生徒への理解促進を目指した研修を積極的に実施していく必要がある。	B: 継続	インクルーシブ推進課

川西市障がい者プラン2029 活動指標シート

	活動指標名称	活動指標値								(中間目標) (R8)	(目標値) (R11)	備考	担当所管
		基準値(R4)	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11				
①	保育所等訪問支援事業の利用者数 (1か月あたりの実利用人数)	10人	9人	26人						15人	20人		こども支援課
②	医療的ケア児を受け入れる児童発達支援事業所 及び放課後等デイサービス事業所の数	2か所	2か所	3か所						4か所	6か所		こども支援課